学校番号	1015

平成31年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史A	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『明解　世界史A』　（帝国書院）						
副教材等	グローバルワイド最新世界史図表　（第一学習社出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界の各地域の歴史を学び、各地域の歴史的特色や日本とのつながりを学習していきます。そのことにより、世界の現在の姿を理解し、将来の生活に役立つような知識と力をつけてほしいです。生きた資料を使い、楽しく、分かりやすく学習する方法を取り入れます。

2　学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を、諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	歴史的・地理的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用し、それをもとに自らの理解を表現する。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・学習状況の観察 ・ワークシート ・定期テスト （資料の読み取り）	・学習状況の観察 ・ワークシート ・定期テスト （資料の読み取り） ・史資料の読み取り	・学習状況の観察 ・ワークシート ・フィールドワークレポート ・史資料の読み取り ・発表の評価	・学習状況の観察 ・ワークシート ・定期テスト ・史資料の読み取り
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	世界史へのいざない	自然環境と歴史，日本の歴史と世界の歴史のつながりにかかわる適切な主題を設定し，考察することで地理と歴史への関心を高め，世界史学習の意義に気づかせる。	○	○		○	a:歴史の舞台としての自然環境や日本列島の中にみられる世界との関係・交流について関心を高め，意欲的に追究している。 b:自然環境と歴史，日本と世界史つながりについて考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c:地図や写真を読み取る活動，年表や地図に表現するなど，世界史学習の基本的技能を身につけている。 d:自然環境と人間の活動，日本と世界が関連していることに気づいている。	・定期考査 ・ワークシート作成 ・発問評価 ・授業参加
	世界の一体化と日本	人類の登場と，農耕・牧畜による食料生産を基礎にして，人類が文明を築き，歴史時代へはいっていくありさまを地域ごとに概観し，各地域世界が形づくられていく過程を理解する。	○	○	○	○	a:人類の進化と文明の特徴を理解し、人種や民族、語族の概念に関心を持って学習しようとしている。 b: 自然環境と歴史，日本と世界のつながりについて考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c: 地図や写真を読み取る活動，年表や地図に表現するなど，世界史学習の基本的技能を身につけている。 d:人類の進化、文明の成立、人類と言語の分化に関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・ワークシート作成 ・発問評価 ・授業参加
	東アジアの文明	1節　東アジアの文明 東アジアの風土と諸民族，封建制度，漢字文化圏，儒教思想，律令体制，文治主義，冊封体制などを通して，日本を含む東アジアの文明の特質を理解する。 特定の歴史上の人物の学習を通じ、歴史のダイナミズムを感じる。	○	○		○	a: 東アジアの風土・生活・言語・思想などについて関心を高め，意欲的に追究するとともに，歴史上の人物についてイメージを持ち、東アジアの特質について考えようとしている。 b:考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c:資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d: 日本を含む東アジアの文明の特質（封建制度，漢字文化圏，儒教思想，律令体制，文治主義，冊封体制など）を構造的視野から把握し，基本的知識を身につけている。	・定期考査 ・ワークシート作成 ・発問評価 ・授業態度

	南アジアの文明	南アジアの風土と諸民族，カースト制，仏教，ヒンドゥー教，イスラームの影響などを通して，南アジアの文明の特質を理解する。	○	○		○	a:南アジアが，宗教と社会制度を共通の基盤として一つの社会が形づくられたことについて関心を高め，意欲的に追究するとともに，南アジアの特質について考えようとしている。 b:考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c:資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d:南アジアの文明の特質（カースト制，仏教，ヒンドゥー教，イスラームの影響など）を構造的視野から把握し，基本的知識を身につけている。	・定期考査 ・ワークシート作成 ・発問評価 ・授業態度
前期末	東南アジア	自然環境や地理的位置に着目し，インドと中国のはざまにあるため，両文明の影響を受けながら，それぞれの地域で多様な社会・文化を築いていった東南アジアの特質を理解する。	○	○		○	a:東南アジアの風土・生活・文化などについて関心を高め，意欲的に追究するとともに，東南アジア世界の特質について考えようとしている。 b:東南アジアが独自の文化を生み出したことについて考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c:東南アジアに関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d:東南アジアの特質（都市や港市のネットワークなど）を構造的視野から把握し，基本的知識を身につけている。	・定期考査 ・ワークシート作成 ・発問評価 ・授業態度
	フィールドワーク	夏休み課題として、ここまで学習したことをふまえ地域の史跡を訪ね歴史的イメージを作る。	○		○	○	a: 実地見聞により歴史に対する興味・関心を高める。 b: 意欲的に歴史的イメージを構築する。 c:フィールドワークにより、資料を読み取る技能を身につける。 d:身近な地域の中に歴史の学習課題を見つける。	フィールドワークレポート

	西アジア・北アフリカの文明	西アジア・北アフリカの風土と諸民族，オリエント文明・イラン文明の伝統にふれ，基層となる西アジアの特徴を把握し，イスラームの成立と拡大・分裂などを通して，西アジア・北アフリカの文明の特質を理解する。	○	○		○	a:西アジア・北アフリカが，さまざまな遊牧民，農耕民，交易民により形成され，拡大したことについて関心を高め，意欲的に追究するとともに，西アジア・北アフリカの特質について考えようとしている。 b:考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c:資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d:西アジア・北アフリカの成立とその特色，地域的な拡大と独自の世界の形成について，イスラーム国家の柔軟性やムスリム商人の役割などを把握し，基本的知識を身につけている。	・定期考査 ・ワークシート作成 ・発問評価 ・授業態度
	ヨーロッパの文明	ヨーロッパの風土と諸民族，ギリシア・ローマ文明の伝統，キリスト教の発展，封建社会などを通して，ヨーロッパの文明の特質を理解する。	○	○		○	a:ヨーロッパの風土・生活・文化などについて関心を高め，意欲的に追究するとともに，ギリシア・ローマ文明の伝統とキリスト教によって一つの文明を形成したヨーロッパの特質について考えようとしている。 b:考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c:資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d:ヨーロッパの文明の特質（ギリシア・ローマ文明の伝統，キリスト教の発展，封建社会など）を構造的視野から把握し，基本的知識を身につけている。	・定期考査 ・ワークシート作成 ・発問評価 ・授業態度
	南北アメリカの文明	南北アメリカ大陸の風土と先住民にふれ，ヨーロッパが進出する以前の南北アメリカ大陸において独自の文化が築かれていたことを理解する。	○	○		○	a:南北アメリカの大陸の風土と先住民，独自の文明に対する関心を高め，意欲的に追究するとともに，南北アメリカの文明の特質について考えようとしている。 b:南北アメリカの文明の特質を考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c:資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d:南北アメリカの文明の特質を構造的視野から把握し，基本的知識を身につけている。	・定期考査 ・ワークシート作成 ・発問評価 ・授業態度

	ユーラシアの交流圏	ユーラシアの内陸及び海域のネットワークを背景に，諸地域間の交流が進み，ユーラシア規模の交流圏が成立していくようすを交易品などの事例を通して巨視的かつ視覚的に把握し，相互の文化受容の進展について理解する。	○	○		○	a:ユーラシア規模の交流圏の成立とそれを支えた内陸および海域(都市や港市)のネットワークに対する関心を高め，意欲的に追究し，考えようとしている。 b:考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c:資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d:ユーラシア規模の交流圏の成立とそれを支えた内陸および海域(都市や港市)のネットワークを把握し，基本的知識を身につけている。	・定期考査 ・ワークシート作成 ・発問評価 ・授業態度
後期中間	一体化に向かう世界　繁栄するアジア	アジアのティムール・オスマン・ムガル・明・清などの諸帝国の政治と社会にふれ，この時期に安定した支配と経済の繁栄を背景に，文化も黄金時代を迎えたことを理解する。	○	○		○	a:成熟期を迎えたアジアの諸帝国に対する関心を高め，意欲的に追究し，その特色について考えようとしている。 b:考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c:資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d:成熟期を迎えたアジアの諸帝国の特色を理解し，その知識を身につけている。	・定期考査 ・ワークシート作成 ・発問評価 ・授業態度
	大航海と新たな国家の形成	ルネサンスと宗教改革，新航路の開拓などにふれ，16 世紀頃から始まった世界の一体化への動きと新たなヨーロッパのわく組みとなった主権国家体制の形成について理解する。	○	○		○	a:16～18 世紀にかけてのヨーロッパ世界の動向，社会・文化の特質，アメリカ・アフリカに対する関心を高め，意欲的に追究し，考察しようとしている。 b: 1 考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c:資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d:ヨーロッパではルネサンスと宗教改革，新航路の開拓を経て主権国家体制が形成され，アメリカではヨーロッパ人による征服と入植・開発が先住民社会の変質を余儀なくしたこと，またアジア貿易への参入やメキシコ銀の流入がヨーロッパ経済の成長と転換をもたらしたことを把握し，その知識を身につけている。	

	欧米の工業化とアジア諸国の動揺	ヨーロッパとアメリカの諸革命 アメリカ諸国の独立，フランス革命，産業革命，拡大する貿易活動などを通して，西ヨーロッパとアメリカに産業社会が成立し，市民社会および国民国家の形成が進行したことを理解する。	○	○		○	a：18 世紀後半から 19 世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命に対する関心を高め，意欲的に追究し，社会の産業化と国民国家の形成により近代世界が確立したことについて考えようとしている。 b:諸革命を考察し，社会の産業化と国民国家の形成により近代世界が確立したことを判断して，一連の思考の過程を適切に表現している。 c:諸革命に関する資料を収集し，適切に活用して，社会の産業化と国民国家の形成により近代世界が確立したことを考察する技能を身につけている。 d:諸革命について理解し，その知識を身につけている。	・定期考査 ・ワークシート作成 ・発問評価 ・授業態度
	自由主義とナショナリズムの進展	19 世紀後半のヨーロッパ，アメリカ社会を通して，自由主義とナショナリズムが進展していくようすとアメリカの発展について理解する。	○	○		○	a：1848年を転換点として，自由主義とナショナリズムが進展したことに対する関心を高め，意欲的に追究し，考えようとしている。 b：自由主義とナショナリズムが進展したことについて考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c：自由主義とナショナリズムが進展したことに関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d：自由主義とナショナリズムが進展したことを理解し，その知識を身につけている。	・定期考査 ・ワークシート作成 ・発問評価 ・授業態度
	アジア諸国の動揺	オスマン帝国の弱体化やムガル帝国の崩壊などを通して，世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の状況，植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折，伝統文化の変容など，アジア諸国の動揺のようすを理解する。	○	○		○	a：アジア諸国の内部で進行していた変化と，ヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌に対する関心を高め，意欲的に追究するとともに，その特質について考えようとしている。 b：考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c：資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d：世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の状況，植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折，伝統文化の変容など，アジア諸国の動揺を理解し，その知識を身につけている。	・定期考査 ・ワークシート作成 ・発問評価 ・授業態度

	東アジアの大変動	アヘン戦争やアロー戦争などの西洋の衝撃により，冊封=朝貢体制に基づく東アジアの伝統的な国際秩序が崩壊していく過程を通して，ヨーロッパ諸国の東アジア進出と東アジア諸国の状況，半植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折，その中での日本の対応など，東アジアの大変動を理解する。	○	○		○	a：東アジア諸国の内部で進行していた変化と，ヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌に対する関心を高め，意欲的に追究するとともに，その特質について考えようとしている。 b：考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c：資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d:ヨーロッパ諸国の東アジア進出と東アジア諸国の状況，半植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折，その中での日本の対応など，東アジアのようすを理解し，その知識を身につけている。	・定期考査 ・ワークシート作成 ・発問評価 ・授業態度
後期末	地球社会と日本　現代世界の芽ばえと世界大戦	交通革命，マス=メディアの発達，企業や国家の巨大化，社会の大衆化と政治や文化の変容，公教育の普及と国民統合などを通して，20 世紀という時代の特質を把握するとともに，欧米諸国によるアジア・アフリカの植民地化をめぐる競合と人口移動から，世界の支配・従属関係を伴う一体化と社会の変容を理解する。	○	○		○	a：19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて，欧米諸国や日本などにみられた社会の急激な変化と 19 世紀の世界の一体化に対する関心を高め，意欲的に追究するとともに，その特質を人類史的視野から考えようとしている。 b：考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c：資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d:産業構造の変化や大量消費社会・大衆社会の始まりなど，20世紀という時代の特質を人類史的視野から把握するとともに，欧米諸国によるアジア・アフリカの植民地化をめぐる競合と人口移動から世界の支配・従属関係を伴う一体化と社会の変容を理解し，その知識を身につけている。	・定期考査 ・ワークシート作成 ・発問評価 ・授業態度

		第一次世界大戦と総力戦としての様相，ロシア革命，ソヴィエト連邦の成立，戦争と革命による国際秩序の変化，アメリカの大衆生活とその波及を通して，20 世紀初頭の変化の様相を理解する。	○	○		○	a：第一次世界大戦の原因と性格，平和の意義などに対する関心を高め，意欲的に追究するとともに，20 世紀初頭の変化の様相について考えようとしている。 b：一連の思考の過程を適切に表現している。 c：資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d：第一次世界大戦の原因と性格，ロシア革命の展開とそれが世界に与えた影響，戦争と革命による国際秩序の変化，国際協調とヴェルサイユ体制，アメリカ的生活様式の資本主義社会への普及について理解し，その知識を身につけている。	・定期考査 ・ビデオレポート ・発問評価 ・授業態度
		インド・中東および東アジアの民族運動を通して，″民族自決″を求めたアジアのナショナリズムの動きを理解する。	○	○		○	a：インド・中東および東アジアの民族運動に対する関心を高め，意欲的に追究するとともに，″民族自決″を求めたアジアのナショナリズムの動きについて考えようとしている。 b：″民族自決″を求めたアジアのナショナリズムの動きについて考察し，一連の思考の過程を適切に表現している。 c：資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d:第一次世界大戦後，インド・トルコ・中国などの民族運動が大衆的基盤をもち，アジア諸民族の動向が世界史の新しい潮流をつくり出したことを理解し，その知識を身につけている。	・定期考査 ・ビデオレポート ・発問評価 ・授業態度
	経済危機から第二次世界大戦へ	第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格，それらが及ぼした影響を理解し，平和の意義などについて考察する。前節とあわせて 20 世紀前半の国際政治の流れを概観し，国際関係の変遷と社会の特質を理解する。	○	○	○	○	a:世界恐慌と資本主義の変容，20 世紀前半の国際政治の流れ，第二次世界大戦の原因や性格などに対する関心を高め，意欲的に追究するとともに，現代の戦争の特質と平和の意義について考え，国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。 b:考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c:資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d:理解し，その知識を身につけている。	・定期考査 ・ビデオレポート ・発問評価 ・授業態度

	冷戦から地球社会へ　冷たい戦争の時代	第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立，アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解し，核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察する。	○	○	○	○	a：第二次世界大戦後の米ソを中心とする両陣営間の対立や，アジア・アフリカ諸地域でみられた民族独立運動の展開，平和共存と多極化の進展などを通して，1970 年頃までの世界の大きな動向について関心を高め，意欲的に追究し，考え，国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。 b：考察し，判断した過程や結果について適切に表現している。 c：資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d：理解し，その知識を身につけている。	・定期考査 ・ビデオレポート ・発問評価 ・授業態度
	冷戦終結への道のり	1970 年代以降は市場経済の世界化をはじめ，米ソのゆらぎや冷戦の終結などから，世界が大きく変容し，今日に至っていることを理解する。	○	○	○	○	a：市場経済の世界化，米ソのゆらぎや冷戦の終結などから，1970 年代以降の世界の大きな変容に対する関心を高め，意欲的に追究し，考え，国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。 b：考察し，判断した過程や結果について適切に表現している。 c：資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d：市場経済の世界化，米ソのゆらぎや冷戦の終結などから，1970 年代以降の世界の大きな変容について理解し，その知識を身につけている。	・定期考査 ・ワークシート作成 ・発問評価 ・授業態度
	地球社会への歩み	冷戦終結後の世界の政治・経済の動向について理解するとともに，日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向を模索し，これからの国際社会における日本の役割について考察する。	○	○	○	○	a：冷戦終結後の世界の政治・経済の動向について関心を高め，意欲的に追究するとともに，これからの国際社会における日本の役割，日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向について考え，国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。 b：考察し，判断した過程や結果について適切に表現している。 c：資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d：理解し，その知識を身につけている。	・定期考査 ・ワークシート作成 ・発問評価 ・授業態度

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。